

# LC-903 取付説明書

対応：バックセット 33mm 扉厚：25～45mm

使うもの◇付属のネジ◇ホールソー◇マスキングテープ◇ドライバー

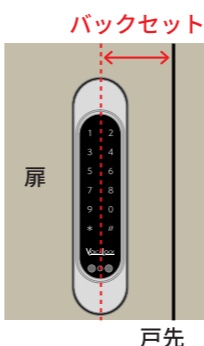
## 注意点

- ◇ケーブルを過度に強く引っ張る等、傷つけたり圧迫したりしない。
- ◇ネジの締め過ぎは、動作不良や故障の原因となります。電動ドライバーは使用しないでください。
- ◇施工方法をよくご理解・ご確認の上、施工をしてください。万一、不適切な施工により生じた損害や逸失利益、第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承願います。

※以下、取り付けの可否を事前にチェックする際のポイントと設置前にご理解いただきたいポイントを明記しております。

## 1. 設置条件について 扉厚：25～45mm・バックセット：33mm

- ① 枠幅の確認**：取り付ける扉に対し、枠の幅が適切であることを確認。  
設置条件のバックセットの寸法に対し、枠幅が十分であることを確認してください。  
※戸当たりの寸法によっては、製品が枠からはみ出ることがあります。  
※扉にガラスがある場合は、穴あけ加工ができない場合があります。
- ② 扉厚の確認**：取り付ける扉の厚さを確認。  
扉厚を確認し、適切な取り付け方法が可能かご確認ください。扉の内部に配線を通す必要があります。
- ③ 扉の加工の可否**：製品の取り付け時、扉や扉枠に穴を開ける必要があります。その際ホールソー等の工具を使用します。
- ④ 取付位置の確認**：取り付ける扉に対し、適切な位置に取り付けが可能かを確認。  
適切な取付位置の詳細については、次項にて明記しています。  
※扉の仕様によって、製品の位置関係を合わせるために、お客様にてスペーサーなどの追加部品をご用意いただく場合があります。  
スペーサーや追加部品の選定及び取り付け作業に不安がある場合は、施工業者様に相談することをおすすめ致します。
- ⑤ 緊急時について**：暗証番号を忘れてしまった場合や故障などの動作不能時は、本機の解錠／施錠を制御できません。  
破錠も含め、事前に本機が動作不能になった場合の対応(別の入口から入室など)をご確認ください。



## 2. ロックユニットと受け側部品の取り付け方法について

ロックユニットは、扉の上部に取り付けします。受け側部品は、面付ストライクと上枠付け用プレートがセットです。  
扉に適した取付方法を選択してください。  
ロックユニットと受け側部品の位置関係は非常に重要ですので、取付位置を事前に十分にご確認ください。  
※扉の仕様によって、製品の位置関係を合わせるために、お客様にてスペーサーなどの追加部品をご用意いただく場合があります。  
スペーサーや追加部品の選定や取り付け作業に不安がある場合は、施工業者様に相談することをおすすめ致します。



## 3. 取付位置について

ロックユニットと受け側部品の取付位置を事前に確認してください。

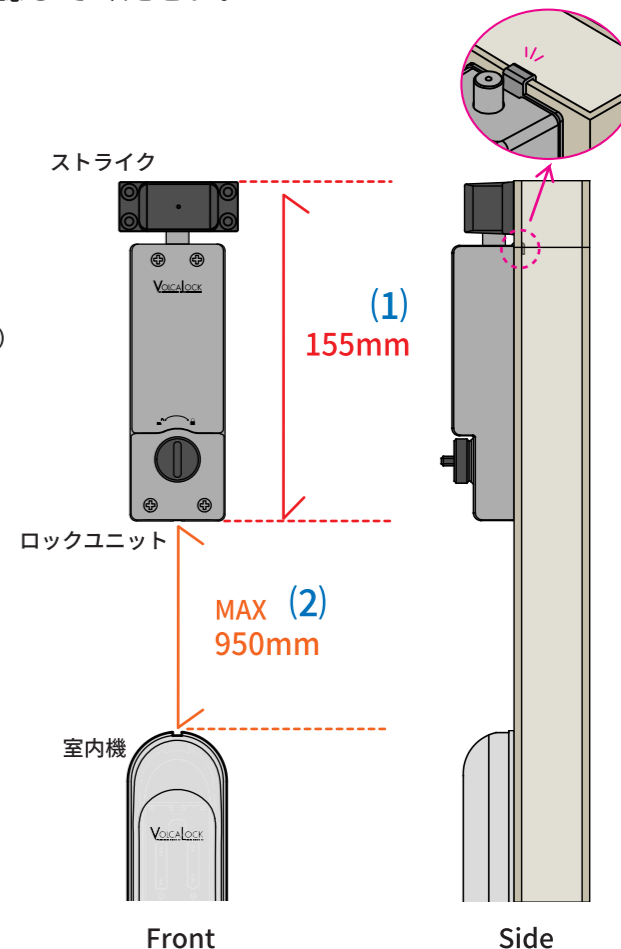
▼ロックユニットを扉に取り付ける際、ブラケットのフックを引っ掛けます。

### 面付ストライクを使用した場合

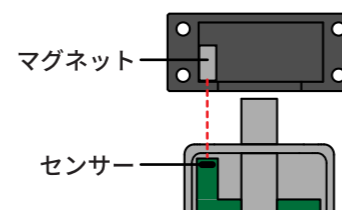
面付ストライクは、扉枠側面に固定します。  
ロックユニットのデッドボルトが面付ストライクの適切な位置に収まるかご確認ください。また、面付ストライクには、オートロックセンサー用のマグネットが内蔵されております。  
ロックユニットのセンサー位置に合わせて固定してください。(図1参照)

### 取付位置について

- (1) ロックユニットの底からストライクの頂点までの距離が **155mm** になるように設置してください。  
(※上記数字は目安です)
- (2) ロックユニットの底から室内機の頂点までの配線最大距離は **950mm** です。
- (3) 配線自体の長さは **1300mm** です。
- (4) 各図を参考に、穴あけ位置を設定してください。



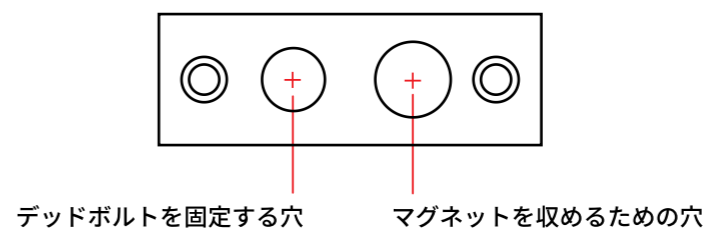
(図1)



※必ずマグネットとセンサーが反応するように設置してください  
※位置が不適切な場合、オートロック機能が正しく動作しません。

### 上枠付け用プレートを使用した場合

上枠付け用プレートは、扉枠上部に固定します。  
※注意※ プレートを取り付けした時に扉が正常に閉まるか事前にご確認ください。プレートと扉が干渉する場合があります。  
ロックユニットのデッドボルト位置に合わせてプレートを固定してください。  
また、施錠するため(デッドボルトを固定するため)に、扉枠に穴を開ける必要があります。  
デッドボルトを固定する穴と、オートロックセンサー用マグネットを収めるための穴が必要となります。

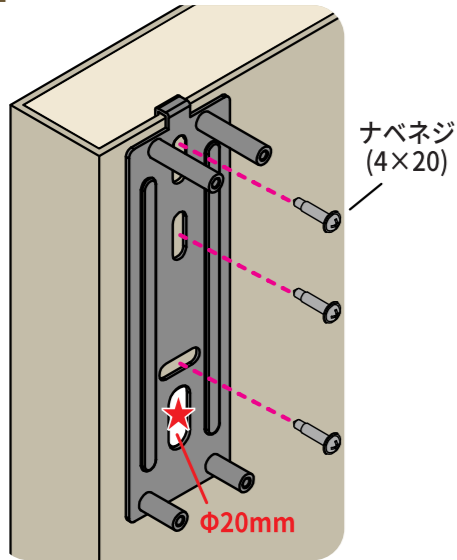


### 注意

扉枠に穴を開ける必要があります。  
プレートにて穴あけ位置を確認後、 $\phi 20\text{mm}$ で穴を開けます。

## 4. 面付ストライクを使用した場合

1



※加工の前に、必ず「3. 取付位置について」をご確認ください。

### ①ロックユニットの位置決め

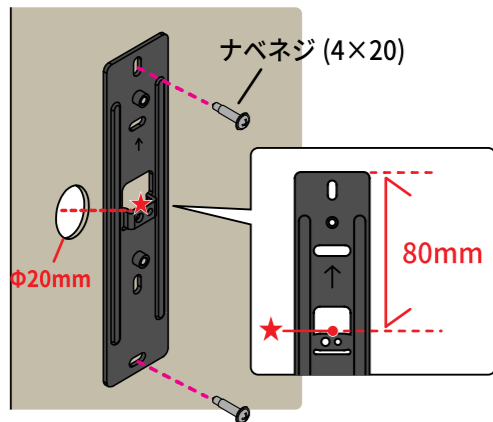
ロックユニット用のブラケットを使い、取り付け位置をマークして決めます。ブラケットは、扉の枠にフックを引っ掛けようとして設置し、位置を調整してください。  
(※取り付け位置は設置する扉によって異なります。  
図面を参考にしながら、受け側部品の位置関係を含め、現物合わせにて調整してください。)

### ②ロックユニットのネジ止め

ブラケットの一番下(★部分)に、中心からΦ20mmで穴を開けます。位置が定まったらナベネジ(4×20)で3箇所固定。

！注意！扉にガラスがある場合等は穴あけ加工できないことがあります。

2



### ①室内機の位置決め

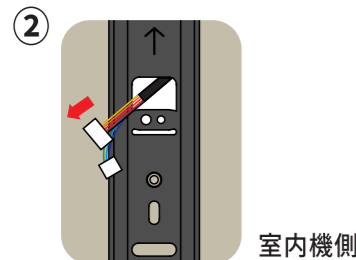
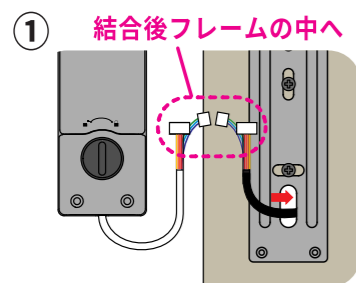
室内機用の取付プレートを使い、取り付け位置を決めます。  
(※取り付け位置は設置する扉によって異なります。  
図面を参考にしながら、現物合わせにて調整してください。)

### ②取付プレートのネジ止め

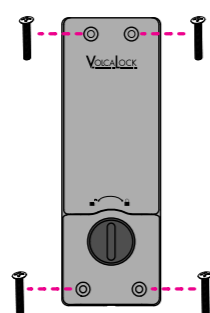
プレートの上から80mmの位置(★部分)を中心としてΦ20mmの穴を開け、反対側の室外機側の扉まで貫通してください。  
位置が定まったら、ナベネジ(4×20)で2箇所固定します。

！注意！扉にガラスがある場合等は穴あけ加工できないことがあります。

3



### ③ネジ(3x10)



### ①ハーネス線の結合

黒いハーネス線をロックユニット本体と結合させ、ブラケットの穴に通して下方向に押し込みます。

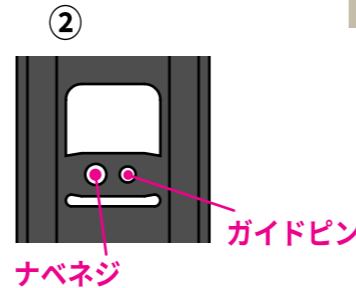
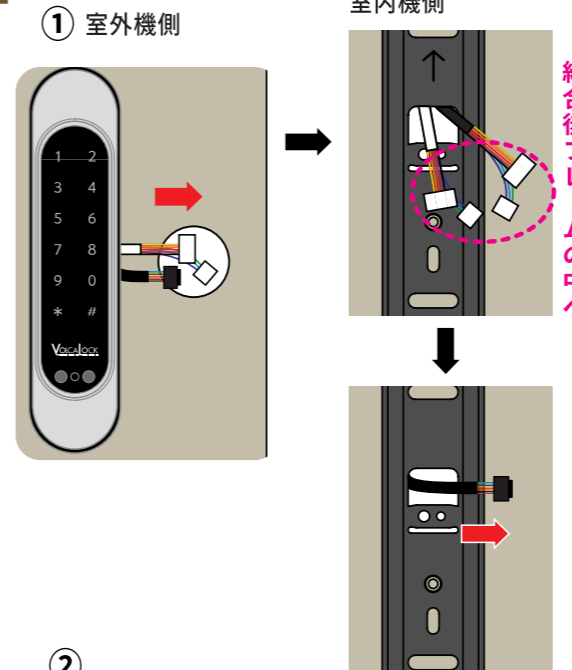
### ②ロックユニットの設置

室内機取付プレート側の穴(Φ20mm)からハーネス線を引き抜き、ロックユニットの位置を調整します。

### ③ネジ止め

最後にネジ(3×10)を4本使って、ロックユニットを固定します。

4



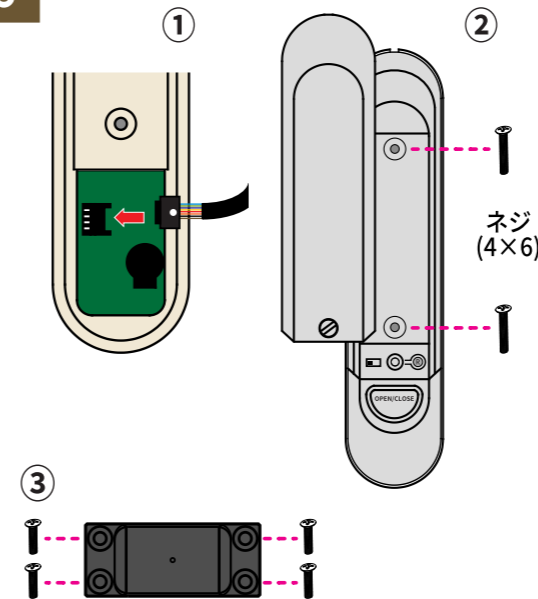
### ①室外機のハーネス線を連結

室外機のハーネス線を、室外機側の穴(Φ20mm)から通し、ロックユニット側から下げたハーネス線と結合させます。  
結合後、2本の線はフレームの中に入れます。  
コネクタが黒い方の線は、室内機取付プレートの穴を通り抜ける状態にしてください。

### ②室外機の固定

室外機に固定されているガイドピンを、室内機取付プレート中央にある2つの穴のうち、室内側から見て右側へ挿入します。  
左側の穴は、ナベネジ(4×35)を1本使って固定。  
扉厚が39～50mmの場合は、同梱されている長いガイドピンに交換してください。  
また、その際はナベネジ(4×50)をご使用ください。  
※ナベネジの長さは扉厚によって異なります。  
※ガイドピンは、ナベネジの頭部を超えない程度に取付プレートから飛び出させてください。

5



### ①室内機のハーネス線連結

室外機側の黒い線を室内機の接続ケーブルに差し込みます。

### ②室内機の固定

2つのネジ(4×6)を使って、室内機本体を固定します。

### ③ストライクネジ止め

最後にストライク側の位置を確認し、ネジでしっかりと固定してください。

※ストライクには、オートロック用のマグネットが内蔵されています。ロックユニットのセンサー位置に合わせて固定をしてください。(詳しくは「3. 取付位置について」を参照)  
※取付後は必ず動作確認をしてください。

※ロックユニットを取り付ける際、扉の形状により必要な場合は取付プレート(5mm、3mm 各一枚同梱)を使用しながら取り付け位置の調整を行ってください。  
※扉の仕様によって、製品の位置関係を合わせるためにお客様にてスペーサー等の追加部品をご用意いただく場合がございます。